



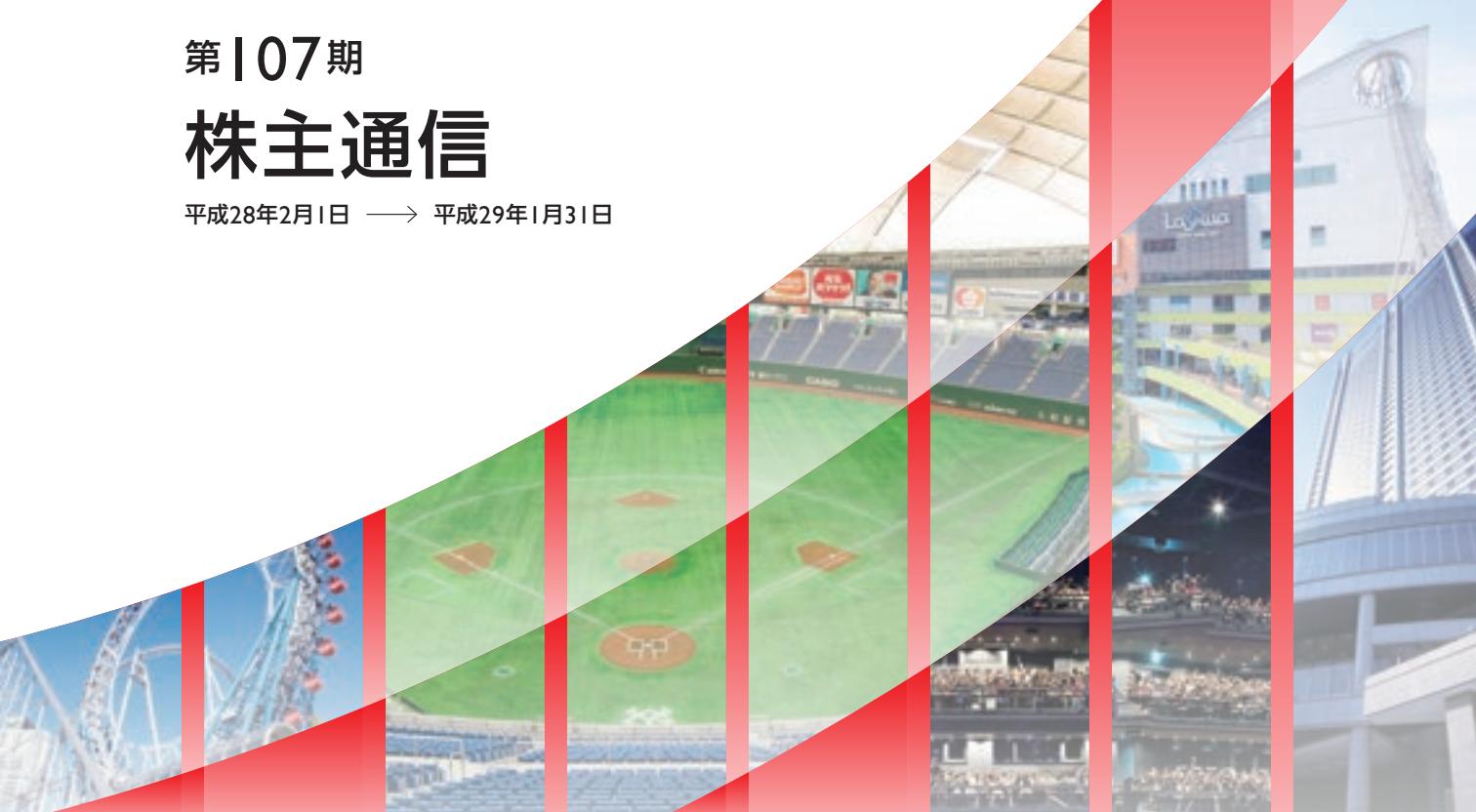
2016

BUSINESS REPORT

第107期

株主通信

平成28年2月1日 → 平成29年1月31日



平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当社は平成29年1月31日をもちまして第107期事業年度(平成28年2月1日から平成29年1月31日まで)を終了いたしましたので、ここに株主通信をお届けし、当社グループの事業の概況をご報告申し上げます。株主の皆様におかれましては、よろしくご高覧のうえ当社グループに対しまして、より一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



取締役会長 久代信次
代表取締役社長 長岡 勤

当連結会計年度におけるわが国経済は、個人消費の回復については遅れが見受けられるものの、企業収益や所得、雇用環境は堅調に推移いたしました。また、訪日外国人の観光需要についても拡大傾向にあり、経済の回復に引き続き寄与する状況でありました。先行きについては、近隣諸国の経済状況、英国のEU離脱問題や新体制となった米国の政策等の動向に注視する必要があります。

このような状況のもと、当社グループは、平成28年2月から平成33年1月までの5ヶ年を対象期間とする中期経営計画「新機軸」のスタートの年度にあたり、以下のとおり総力を挙げて取り組みました。

「新機軸」で掲げた経営課題を解決するためのアクションプランについての取り組みは、「東京ドームシティ(以下、TDC)に、将来に亘り持続的に価値をもたらすための環境整備」としまして、東京ドームにおいて、快適な野球観戦環境の提供を主旨として、ダイヤモンドボックス・チャンピオンシートの新設、1階内野席の改良、音響設備の更新などを実施しました。親子連れでにぎわうアソボーノにおいてはオープン5周年を記念したリニューアルを行い、より“家族力”のアップに貢献すべく家族の記念日にちなんだイベントを取り込むなど支持を集めました。

また、環境対策として、東京ドームにおける外野アリーナ照明のLED化や、東京ドームホテルをはじめエネルギー消費量の大きい施設に対するBEMS(ビルエネルギー管理システム)の導入を行い、省エネを推進しました。

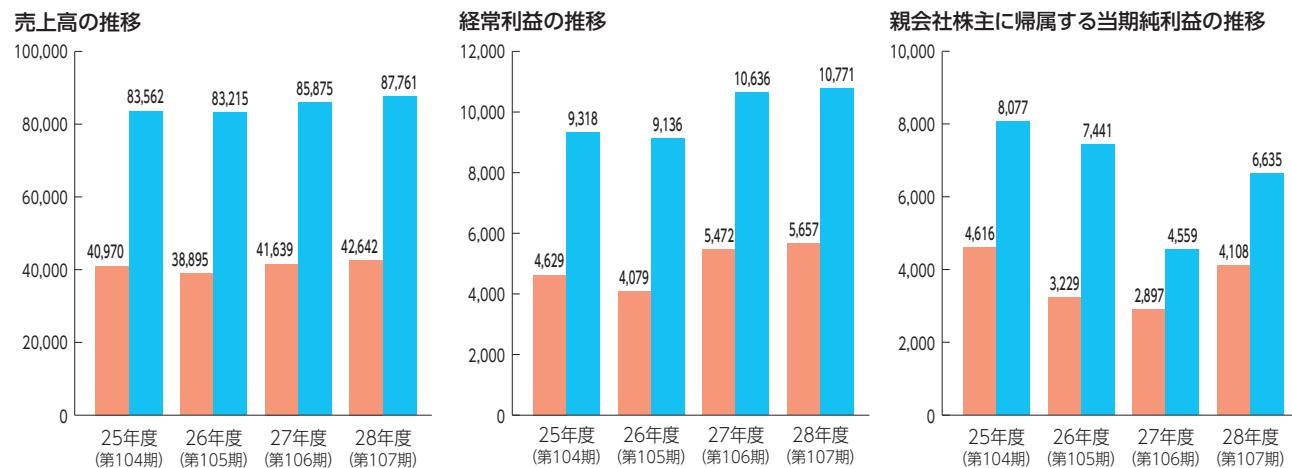
「熱海後樂園ホテルのリニューアル」につきましては、更なるバリューアップを目指し、ワンランク上の上質なくつろぎを提供する「エクセレンシィ フロア」をタワー館に新設しました。オーシャンビューの和洋客室、貸切露天風呂や専用ラウンジを備え、平成28年9月にオープンいたしております。

「TDC内外における新規事業の追求及び新規顧客の獲得」につきましては、「テーブルウェア・フェスティバル」や「ふるさと祭り東京」といった東京ドームの冬期人気イベントコンテンツの外部展開を行いました。なかでも「全国ご当地どんぶり選手権」は、大手香港外食グループのプロデュースによるイベントを通じて、現地の方々に日本食文化の魅力を広めております。スポーツ・公共施設の運営やメンテナンスなどを担う東京ドームスポーツ、東京ドームファシリティーズにおいては、指定管理者として新規受託を引き続き獲得し、地域社会の一員として貢献しております。

「グローバル化・ユニバーサル化を視野に入れた環境整備」につきましては、訪日外国人観光客の受け入れのための施設、サービスの体制整備の一環として、多言語オーディオガイドアプリシステム「Audio guide Q」を他社と共同で開発しました。主にミュージアムなどでの日本の文化観光の体験時に、よりコンテンツを理解していただけるための手助けとなるもので、TeNQや「ふるさと祭り東京」で導入いたしました。使い心地や管理のしやすさなどに評価をいただいております。新規事業としての可能性も追求し、積極的に多様な施設への展開を計画しております。また、近隣地域の魅力を

連結業績ハイライト

■ 第2四半期 ■ 通期(百万円)



発信するWEBサイト「Stroll Tips」を、日英中3ヶ国語表記で開設するとともに、新たな交通手段、観光資源の可能性についても、近隣公共団体との連携のもと研究を進めております。

ユニバーサル対応としましては、多目的トイレの増設や、TDC内の動線整備として、アトラクションズエリアにおいて、エレベーターを設置するなど、ご来場されるお客様の安全性と利便性の向上に寄与すべく計画を進めております。

「いつも安全・安心な環境を保ち続けること」につきましては、安全マネジメントシステムによる事故災害の防止、施設・設備の不具合や老朽化への対応、取引先や協力会社への安全情報の共有と指導を更に推進するとともに、より実践的な各種防災訓練の実施、AED講習・感染症予防・テロ対策・地震対策などの各種アクションプランのレベルアップを図っております。特に平成28年5月に開催された伊勢志摩サミットに伴うテロ事案の未然防止に向けた特別警戒の取り組みは、所轄官庁より警視総監感謝状をいただくなど、高い評価を受けております。

また、従来より引き続き取り組んでいることではありますが、TDCでは、業界関係者との長年に亘る関係構築の成果として、アトラクションズを中心とした「ONE PIECE」や「ハイキュー!!」、TeNQでの「君の名は。」といった人気アニメとのコラボレーションイベントや、ご家族で参加出来る夏休みの体験イベントやハロウィンパーティーなどを開催し、様々な客層に訴求することでシティ全体でのシナジー効果を高めております。

連結業績といたしましては、東京ドームにおける野球・コンサートイベントの開催日数の増加や物販の好調、東京ドームスポーツによる指定管理者としての新規運営受託などにより、売上高は877億6千1百万円(前期比2.2%増)となりましたが、熱海後楽園ホテルの営業規模の縮小が影響し、営業利益は125億8千9百万円(前期比1.2%減)となりました。また、持分法適用関連会社であるテリーヒルズ ゴルフ&カントリークラブ ホールディングスの事業譲渡などにより、経常利益は107億7千1百万円(前期比1.3%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は66億3千5百万円(前期比45.5%増)となり、今中期経営計画の目標達成に向けて順調なスタートを切りました。

当社グループは、中期経営計画「新機軸」において掲げております

- ①「平成33年1月期の連結営業利益130億円」
- ②「平成33年1月期の連結有利子負債残高1,390億円」
- ③「平成33年1月期の連結ROA(総資産経常利益率)4%、連結ROE(自己資本利益率)6%」
- ④「一株当たり12円の配当に加え、連結当期純利益60億円を超える部分のEPS(一株当たり利益)×30%分の配当を業績に応じて実施」

という4つの目標の達成に向けて、以下の取り組みを行います。

TDCでは、東京ドームにおいて、開場以来初となる大規模リニューアルを3年計画で進めておりますが、2期目の取り組みとして2階内野席の改良、エキサイトシートの増設、内野席を含むアリーナ照明の完全LED化、正面ゲート上部のデジタルサイン設置など、主たる工事は本年3月上旬で完了しており、プロ野球公式戦の開幕からお楽しみいただいております。

ラクーアにおいては、本年1月に累計入館者として1,000万人目のお客様をお迎えすることが出来ましたが、更なる上質な癒しとくつろぎの空間の提供を目指し、浴室には檜を使った炭酸風呂とフィンランドサウナ、リラクゼーションゾーンには自宅リビングのようにくつろげる空間「ラクーアリビング」をそれぞれ新設するなど、今秋1ヶ月程度の期間をかけて改装を行い、リニューアルオープンする予定としております。

東京ドーム ボウリングセンターは、新しい楽しみ方の提案として、1フロアを改装し、併設したバーカウンターでお酒とともに楽しめる「CuBAR LOUNGE」(クーパーラウンジ)の営業を、本年3月より開始しております。

熱海後楽園ホテルにおいては、新たな宿泊施設と日帰り需要をターゲットとした施設を建設し、平成31年春の開業を予定しております。相模灘を一望する熱海最大級の日帰り温泉施設をはじめ、伊豆をテーマにしたダイニング&マーケット、屋外には季節毎のイベント

が開催出来るテラスや憩いの広場を設け、「エクセレンシィ フロア」を備えたタワー館とともに、旅行者の様々なニーズと期待にお応えする複合型リゾート施設を目指して参ります。

新規事業の開発としましては、「Gallery AaMo」(ギャラリー アーモ)が本年4月に開業いたしております。マンガ・アニメからアート、サブカルチャーなどジャンルを問わず様々な催事を行う多目的スペースとして、「遊べる」をキーワードに、見るだけでなく、体験出来るギャラリーとして他施設との差別化を図ってまいります。TDCの街づくりの中でアート・カルチャー面を強化し、新たな顧客層の獲得と情報発信の場として、独自のブランドを創り上げて参ります。

安全文化の更なる醸成につきましては、アトラクションズでの事故原因の分析などから得られた教訓に基づき、厳格に設定した安全基準により見直された対応は、関連業界においても高い評価をいただく水準となっております。引き続き専門部署を中心に更なる深化を目指し、当社グループの全ての従業員に広く受け継ぐとともに人材育成に活かす取り組みを行って参ります。

国内経済は、政府の経済政策の効果により個人消費が停滞局面から脱し、景気の本格的な回復が期待されます。また、「東京オリンピック・パラリンピック」や増加する訪日外国人への対応は、近隣地域の諸団体と共同である重要事案と認識しております。当社グループは、「新機軸」で掲げた課題を解決し、目標を達成するために、必要な施策をひとつひとつ実行し、グループの企業価値向上を目指して参ります。

当社グループは、「お客様と『感動』を共有し、豊かな社会の実現に貢献する」という経営理念を実践すべく、今後もグループの総力を結集して事業に邁進する所存であります。

株主の皆様におかれましては、何卒ご理解を賜りまして、より一層のご指導とお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

東京ドームシティ事業 ● 東京ドーム、東京ドームシティ アトラクションズ、東京ドームホテル、ラクアア(スパ・フィットネス)、黄色いビル等

東京ドーム

東京ドームは、野球・コンサートイベントの開催日数の増加やコンサートイベントにおける物販の好調により、増収となりました。

東京ドームシティ アトラクションズ

東京ドームシティ アトラクションズは、各アトラクション及びコラボレーションイベントの好調により、増収となりました。

東京ドームホテル

東京ドームホテルは、客室稼働率は若干低下したものの、客室単価について過去最高を記録したことにより、増収となりました。

ラクアア

ラクアアは、テナントは堅調であったものの、スパの利用者の減少により、減収となりました。

黄色いビル

黄色いビルは、賃料の改定の影響により、減収となりました。

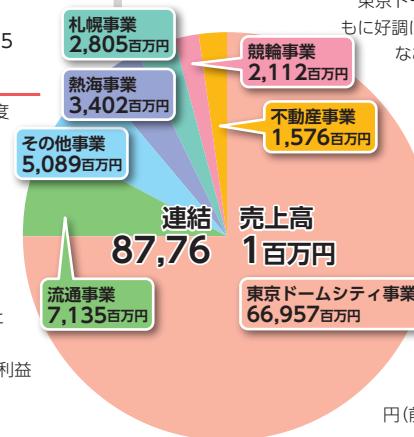
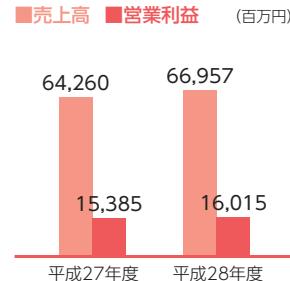
以上の結果、東京ドームシティ事業全体での売上高は669億5千7百万円(前期比4.2%増)、営業利益は160億1千5百万円(前期比4.1%増)となりました。



東京ドームシティ

主な連結子会社

- 【東京ドームホテル】(株)東京ドームホテル
- 【スパ・フィットネス】(株)東京ドームスポーツ
- 【その他】(株)東京ドームファシリティーズ/後楽園事業(株)



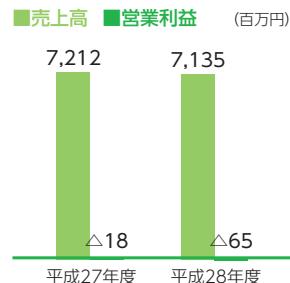
流通事業 ● ショッピング(化粧品・雑貨小売店)

化粧品を中心に各種雑貨を取り扱う「ショッピング」は、店舗数の減少により、減収となりました。

以上の結果、売上高は71億3千5百万円(前期比1.1%減)、営業損失は6千5百万円(前期比4千7百万円の損失増)となりました。



ショッピング



不動産事業 ● 賃貸等不動産の管理

テナントの稼働が堅調に推移したことにより、ほぼ前年並みとなりました。

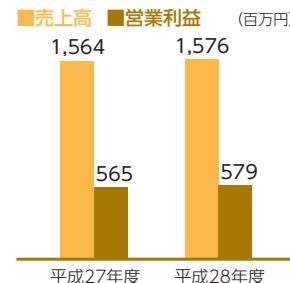
以上の結果、売上高は15億7千6百万円(前期比0.7%増)、営業利益は5億7千9百万円(前期比2.4%増)となりました。



相模原ビル

主な連結子会社

- 【賃貸等不動産の管理】松戸公産(株)/後楽園不動産(株)



熱海事業 ● 熱海後楽園ホテル等

熱海後楽園ホテルは、リニューアル計画に基づくみさき館の閉鎖に伴い、平成28年9月以降はタワー館単館での営業となったことにより、減収となりました。

以上の結果、売上高は34億2百万円(前期比25.9%減)、営業損失は1億1千9百万円(前期比4億7千9百万円の減益)となりました。

主な連結子会社【熱海後楽園ホテル等】(株)東京ドーム・リゾートオペレーションズ



熱海後楽園ホテル

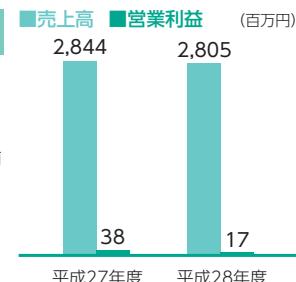
札幌事業 ● 東京ドームホテル 札幌

東京ドームホテル 札幌は、来道者の増加を背景に宿泊部門において客室稼働率、単価ともに好調に推移しましたが、婚礼部門の不振により、減収となりました。

なお、本年4月末をもって、東京ドームホテル 札幌としての営業を終了いたします。

以上の結果、売上高は28億5百万円(前期比1.4%減)、営業利益は1千7百万円(前期比54.6%減)となりました。

主な連結子会社【東京ドームホテル 札幌】(株)札幌後楽園ホテル



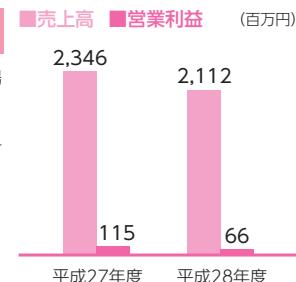
東京ドームホテル 札幌

競輪事業 ● 松戸競輪場等

松戸競輪は、本場開催でのレースグレードが前期と比べて低かったことや場外発売日数の減少、サテライト大和の運営方法の変更により、減収となりました。

以上の結果、売上高は21億1千2百万円(前期比10.0%減)、営業利益は6千6百万円(前期比42.2%減)となりました。

主な連結子会社【松戸競輪場等】松戸公産(株)



松戸競輪場

その他事業 ● スポーツ施設運営受託等

スポーツ施設の運営の受託を行う東京ドームスポーツにおいて、受託施設の増加により、増収となりました。

以上の結果、売上高は50億8千9百万円(前期比18.8%増)、営業利益は3億1千3百万円(前期比119.9%増)となりました。

主な連結子会社

- 【スポーツ施設運営受託等】(株)東京ドームスポーツ
- 【有価証券の保有・管理】オリンピア興業(株)
- 【その他】進商事(株)



指定管理スポーツ施設

連結貸借対照表(概要)

単位：百万円

科目	第107期	第106期
	平成29年1月31日現在	平成28年1月31日現在
資産の部		
流動資産	30,470	26,773
固定資産	271,441	274,299
有形固定資産	234,638	235,906
無形固定資産	1,122	1,091
投資その他の資産	35,679	37,301
繰延資産	1,591	1,642
資産合計	303,503	302,715
負債の部		
流動負債	66,412	70,195
固定負債	142,488	146,207
負債合計	208,900	216,403
純資産の部		
株主資本	27,949	22,463
その他の包括利益累計額	66,653	63,848
純資産合計	94,602	86,312
負債純資産合計	303,503	302,715

連結損益計算書(概要)

単位：百万円

科目	第107期	第106期
	平成28年2月1日から平成29年1月31日まで	平成27年2月1日から平成28年1月31日まで
売上高	87,761	85,875
売上原価	69,441	67,858
売上総利益	18,320	18,017
一般管理費	5,730	5,280
営業利益	12,589	12,737
営業外収益	677	670
営業外費用	2,496	2,770
経常利益	10,771	10,636
特別利益	311	205
特別損失	1,670	2,983
税金等調整前当期純利益	9,412	7,858
法人税、住民税及び事業税	1,082	518
法人税等調整額	1,694	2,780
当期純利益	6,635	4,559
親会社株主に帰属する当期純利益	6,635	4,559

連結株主資本等変動計算書

第107期(平成28年2月1日から平成29年1月31日まで)

単位：百万円

	株主資本				株主資本合計	その他の包括利益累計額					純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式		その他の包括利益累計額合計	その他有価証券評価差額金	土地再評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	
当期首残高	2,038	777	20,130	△ 483	22,463	10,407	53,871	△ 231	△ 199	63,848	86,312
当期変動額											
剰余金の配当			△ 1,144		△ 1,144						△ 1,144
親会社株主に帰属する当期純利益			6,635		6,635						6,635
自己株式の取得				△ 5	△ 5						△ 5
自己株式の処分		0		0	0						0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						989	1,414	231	169	2,804	2,804
当期変動額合計	—	0	5,491	△ 5	5,486	989	1,414	231	169	2,804	8,290
当期末残高	2,038	777	25,621	△ 488	27,949	11,397	55,286	—	△ 29	66,653	94,602

(平成29年1月31日現在)

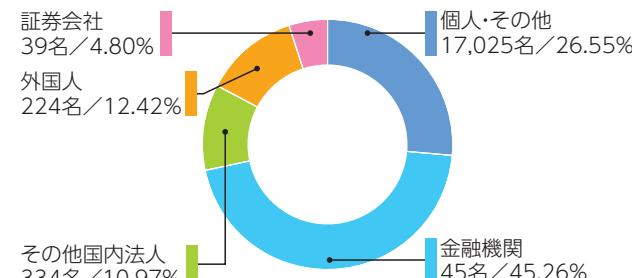
社名 株式会社東京ドーム
TOKYO DOME CORPORATION
設立 昭和11年12月25日
本社 〒112-8575
東京都文京区後楽1丁目3番61号
TEL 03-3811-2111(代表)
従業員数 820名
資本金 2,038,451,007円
発行可能株式総数 198,000,000株
発行済株式の総数 95,857,420株
(自己株式525,276株を含む)
株主数 17,668名(自己株式1名を含む)

大株主(上位10名)

株主名	所有株式数 (千株)	持株比率 (%)
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口)	9,726	10.20
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社(信託口)	8,163	8.56
株式会社みずほ銀行	4,282	4.49
富国生命保険相互会社	4,276	4.48
株式会社竹中工務店	3,343	3.50
BNPパリバ証券株式会社	2,241	2.35
資産管理サービス信託銀行 株式会社(証券投資信託口)	1,529	1.60
損害保険ジャパン日本興亜株式会社	1,313	1.37
日本生命保険相互会社	1,304	1.36
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口9)	1,292	1.35

(注)1. 当社は、平成28年8月1日付で普通株式2株を1株にする株式併合を実施しております。また、同日付で単元株式数を1,000株から100株に変更しております。
2. 持株比率は、自己株式(525,276株)を控除して計算し、小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。

所有者別株式分布状況



※パーセンテージは持株比率
※自己株式を除く

役員

地位	氏名	担当ならびに重要な兼職の状況
代表取締役会長 執行役員	久代 信次	富士急行株式会社社外取締役 東京都競馬株式会社社外取締役
代表取締役社長 執行役員	長岡 勤	
専務取締役 執行役員	野村 龍介	管理本部長 兼総務部・人事部・財務部・施設部担当
専務取締役 執行役員	山住 昭宏	営業本部長
常務取締役 執行役員	谷口 好幸	審査法務部・安全推進室担当
常務取締役 執行役員	西勝 昭	開発室担当 営業本部宣伝広告部・営業推進部・東京ドーム部担当
常務取締役 執行役員	小田 切吉隆	経営本部長 兼秘書室・グループ戦略室・広報IR室・熱海後楽園ホテルリニューアルプロジェクトチーム担当
取締役	秋山 智史	富国生命保険相互会社取締役 富士急行株式会社社外取締役 株式会社帝国ホテル社外取締役 日清紡ホールディングス株式会社社外取締役 昭和電工株式会社社外取締役
取締役	森 信博	
取締役	井上 義久	
常勤監査役	田中 雅昭	
常勤監査役	田中 毅	
監査役	堤 淳一	弁護士
監査役	野崎 幸雄	弁護士
監査役	児玉 幸治	一般財団法人機械システム振興協会会長 株式会社よみうりランド社外監査役
常務執行役員	永田 有平	営業本部興行企画部・ホール部・ミーツポート部担当 兼興行企画部長
常務執行役員	柴田 馨	営業本部飲食&物販部・ショッパイン部担当 兼飲食&物販部長
執行役員	久岡 公一郎	営業本部業務部・営業環境管理部・プロパティ管理部担当 兼業務部長
執行役員	大坪 龍太	営業本部ラクーア部・ミュージアム部担当 兼ラクーア部長
執行役員	手島 康彦	営業本部東京ドーム部長
執行役員	岩瀬 敬之	開発室長
執行役員	大川 大作	営業本部アミューズメント部・スポーツレジャー部担当兼アミューズメント部長



当社グループの主要な営業所 (平成29年4月1日現在)

- 東京ドームシティ** 〒112-8575 東京都文京区後楽1丁目3番61号
 わくわくダイヤル(ご案内専用電話) 03-5800-9999
- 東京ドーム(全天候型多目的スタジアム)
 - 東京ドームシティ アトラクションズ
 - ラクア(天然温泉スパ、アトラクション、ショップ&レストラン、フィットネスクラブ)
 - ミーツポート(東京ドームシティホール、ショップ&レストラン)
 - 後楽園ホールビル
後楽園ホール
 - 黄色いビル
東京ドームボウリングセンター、スポドリ!、TeNQ(テンキュー)
 - プリズムホール(多目的イベントホール)
 - レストラン、ショップ 各店

テナントビル 松戸公産アドホック新宿ビル(東京都新宿区)03-3354-2100
 プチモールニッ木(千葉県松戸市)047-374-5511

ショッピング(化粧品・雑貨小売店)

【東京23区エリア】		川越アトレマルヒロ店	049-227-5065
アトレ恵比寿店	03-5475-8393	ルミネ大宮店	048-631-0226
池袋ショッピングパーク店	03-5956-2631	【関西エリア】	
池袋マルイ店	03-5957-5960	京都ザ・キューブ店	075-365-8628
ルミネ有楽町店	03-5220-3910	河原町オーパ店	075-255-8141
銀座インズ店	03-3562-9710	ルクアイーレ店	06-6151-1461
お茶の水サンクレー路店	03-3293-9550	天王寺ミオ店	06-6770-1172
東京ドームシティラクア店	03-3868-7066	なんばマルイ店	06-7633-7932
赤羽アピレ店	03-3905-2050	なんばウオーク店	06-6484-2556
錦糸町テルミナ2店	03-3624-2130	心斎橋オーパ店	06-6258-3907
ルミネ北千住店	03-3879-1163	天満橋京阪シティモール店	06-4790-6201
阿佐ヶ谷ダイヤ街店	03-5327-3778	淀屋橋odona店	06-6221-2977
【東京23区外エリア】		京橋京阪モール店	06-6356-3408
国立駅店	042-574-7585	ディアモール大阪店	06-6348-4634
セレオ国分寺店	042-327-1066	梅田エスト店	06-6292-5715
町田モディ店	042-726-1180	京阪百貨店ひらかた店	072-861-3250
【関東エリア】		らぼーと甲子園店	0798-81-6802
溝の口ノクティプラザ店	044-814-7524	川西モザイクボックス店	072-740-2544
東急百貨店たまプラザ店	045-903-2156	くずはモール店	072-864-5767
横須賀モアーズシティ店	046-820-4451	【中国エリア】	
ルミネ藤沢店	0466-55-1525	広島アッセル店	082-568-9077
シャポー船橋店	047-411-2281	岡山一番街店	086-232-1060
シャポー市川店	047-320-9280		
柏マルイ店	04-7163-8871		
アトレ松戸店	047-364-7185		



熱海後楽園ホテル



ラクア

東京ドームホテルズ		競輪場	
東京ドームホテル(東京都文京区)	03-5805-2111	松戸競輪場(千葉県松戸市)	047-362-2181
東京ドームホテル 札幌(北海道札幌市)	011-261-0111		
(平成29年4月末営業終了)			
熱海後楽園ホテル(静岡県熱海市)	0557-81-0041		



株主ご優待基準・ご優待の内容 (平成29年4月1日現在)

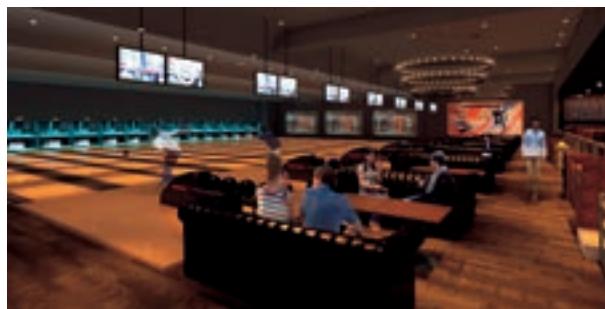
株主ご優待一覧 (毎期1月31日の基準日に適用)

ご優待の内容	ご所有株式数				
	500株以上	2,000株以上	5,000株以上	10,000株以上	30,000株以上
1 東京ドーム株主優待得10チケット	10ポイント	20ポイント	20ポイント	30ポイント	30ポイント
	有効期限:対象年度の翌年3月31日まで				
2 東京ドーム500円優待券	6枚	6枚	12枚	24枚	30枚
	有効期限:対象年度の翌年3月31日まで				
3 野球株主証	対象:対象年度に東京ドームで開催されるプロ野球パナントレース〔読売ジャイアンツ及び北海道日本ハムファイターズの主催試合〕のうち、ご希望の試合(所定の数まで) ●ご優待のお席が満席となった際にはお立ち見となる場合がございます。 ●全ての野球株主証についてご本人様確認を行います。				
期間中の最少ご所有株式数	500株以上	2,000株以上	10,000株以上	30,000株以上	
(3年以上5年未満継続保有)	—	巨人戦指定席C2枚又は日本ハム戦指定席1枚: 計8試合 (株主様限定通信販売で利用の場合:3,000円分)			
(5年以上7年未満継続保有)	—	巨人戦指定席C2枚又は日本ハム戦指定席1枚: 計12試合 (株主様限定通信販売で利用の場合:3,000円分)			
(7年以上継続保有)	—	巨人戦指定席C2枚又は日本ハム戦指定席1枚: 計16試合 (株主様限定通信販売で利用の場合:6,000円分)	巨人戦指定席B2枚又は日本ハム戦指定席1枚: 計16試合 (株主様限定通信販売で利用の場合:6,000円分)	巨人戦指定席A2枚又は日本ハム戦指定席1枚: 計16試合 (株主様限定通信販売で利用の場合:6,000円分)	

※継続保有の年数については、同一株主番号で1月末日・7月末日のそれぞれの株主名簿に連続して記載又は記録されていることを確認させていただきます。
 ※継続保有に係る所有株式数については、株式併合前のものは2分の1の数としたうえで、当該期間中いずれの時点においても少なくとも所定の数を保有されていることを確認させていただきます。
 ※野球株主証を使用する予定が無い株主様は未使用の野球株主証に限り株主様限定通信販売で所定の金額分として使用できます。(引換期限 対象年度の5月31日まで必着)
 ※巨人戦観戦につきチケット1枚のみ希望される場合は、残りの1枚分については所定の試合数に加えて振り替えて使用できるものとします。ただし、1試合につき2枚までの発券とさせていただきます。

東京ドームボウリングセンター CuBAR LOUNGE(クーパー ラウンジ)オープン

東京ドームボウリングセンターは、黄色いビル4Fフロア14レーンを「CuBAR LOUNGE(クーパー ラウンジ)」としてリニューアルオープンしました。場内では待ち時間にもご利用頂けるバーカウンターがあり、ゆったりとくつろぎながらお楽しみいただける、ラウンジ風のクラシックな空間です。仲間同士で、カップルで、様々なシーンにご利用ください。



- ◎営業時間：16：00～22：30 ※土曜日は10：00～、日曜日・祝日は9：00～
- ◎プレイ料：1ゲーム 平日740円、土日祝800円 ※学生料金、時間貸し料金などあり
- ◎貸靴料：400円(15cm～32cm)

熱海後楽園ホテル 2019年春オープン！「複合型リゾート施設」

熱海後楽園ホテルの敷地内に新たな宿泊施設と日帰り需要をターゲットとした施設を建設し、2019年春に開業します。

相模灘を一望する熱海最大級の日帰り温泉施設をはじめ、“伊豆”をテーマにしたダイニング&マーケット、屋外には季節毎のイベントが開催できるテラスや憩いの広場を設け、昨年リニューアルしたタワー館とともに、旅行者の様々なニーズと期待にお応えする複合型リゾート施設の誕生を目指していきます。



※掲載CGは計画段階のものであり、施工上等の理由により変更となる場合があります。

提供：竹中工務店

新しいカルチャースペース 『Gallery AaMo(ギャラリー アーモ)』オープン

東京ドームシティに“楽しさ”と“ライブ感”を体験できる大人のための“遊べる”ギャラリー『Gallery AaMo(ギャラリー アーモ)』がオープンしました。

AaMoの「A」は、「Art」「Amusement」の略、そして「aMo」は「and More」の意。新しい価値が創造され展開されるギャラリーであり東京の新名所として認知されていく、という意味が込められています。

最先端のメディアアートから、工芸、サブカルチャーまで、様々なジャンルの催事を1～3ヶ月ごとに入れ替えながら継続的に展開していきます。



- ◎名称：Gallery AaMo(ギャラリー アーモ)
- ◎場所：東京ドームシティ クリスタルアベニュー沿い

今後の展覧会予定 『TOKYO ART CITY by NAKED』

『Gallery AaMo(ギャラリー アーモ)』では、クリエイティブカンパニー「NAKED(ネイキッド)」による東京の姿を都市と光のアートの側面から創造する体験型展示会『TOKYO ART CITY by NAKED』を2017年6月16日(金)～9月3日(日)に開催します。「都市とはアートである」のコンセプトのもと、変化を続ける“東京”を題材に、多様な人びとの営みが集積する“都市”をプロジェクションマッピングや巨大模型によってコラージュし、その中を通り体験することによって時間軸を超え変化し続ける“都市”を体感いただけます。

※料金ほか詳細については、公式ホームページをご確認ください。



(C) 2016NAKED Inc.

- 証券コード** 9681
- 事業年度** 2月1日から翌年1月31日まで
- 定時株主総会** 4月
- 基準日** 定時株主総会・期末配当・株主ご優待 1月31日
 中間配当 7月31日
 その他必要あるときは、予め公告して臨時に基準日を定めます。
- 株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関** 東京都千代田区丸の内1丁目4番1号
 三井住友信託銀行株式会社
- (郵便物送付先)** 〒168-0063 東京都杉並区和泉2丁目8番4号
 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
- (電話照会先)** 0120-782-031 (フリーダイヤル)
- (ホームページアドレス)** <http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>
- 公告の方法** 電子公告により行います。
 ただし、事故その他やむをえない事由によって電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載する方法により行います。

住所変更、単元未満株式の買取・買増のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
 なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

未払配当金の支払について

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。



当社の主なあゆみ

1936/12/25	「株式会社後樂園スタジアム」(現株式会社東京ドーム)設立	1988/3	東京ドーム開場
1937/9	後樂園球場開場	1990/9	㈩後樂園スタジアムを㈩東京ドームに社名変更
1949/5	東京証券取引所に株式上場	1990/12	プリズムホール開業
1949/10	後樂園競輪場開場	1992/7	屋内遊園地「ジオポリス」オープン
1955/7	後樂園ゆうえんち開業	2000/6	東京ドームホテル開業
1962/4	後樂園ボウリング会館全館開場 (現・後樂園ホールビル)	2003/4	後樂園ゆうえんちを東京ドームシティ アトラクションズに名称変更
1973/4	黄色いビル(場外馬券発売所、ボウリング場など)開場	2003/5	ラクーア開業
		2008/3	ミーツポート開業
		2009/4	屋内遊園地「ジオポリス」リニューアルオープン

〈特別口座で株式を保有されている株主様へ〉

株券電子化制度の開始により、当社の単元株式数に満たない株式(単元未満株式)をお持ちの株主様を中心に、「特別口座」が開設されています。**特別口座でお持ちの株式は、証券取引所で売買することができません。**対象の株主様には、以下のお手続きをお勧めしています。

■ 単元未満株式の買取請求制度～単元未満株式をお持ちの場合～

単元未満株式をお持ちの株主様は、単元未満株式の買取請求制度をご利用いただけます。
お手続き方法は三井住友信託銀行までお問い合わせください。

※買取の価格は、買取請求書類が三井住友信託銀行に到着した日における東京証券取引所の終値(その日に売買がないときは、その後最初になされた売買取引の成立価格)に、買取請求株式数を乗じた金額となります。

■ 証券会社の口座への振替

特別口座でお持ちの株式を、ご自身の証券口座に振替えていただくことができます。証券口座に振替えた単元株式は、証券取引所で売買することができます。
お手続き方法は三井住友信託銀行までお問い合わせください。

※証券口座をお持ちでない株主様は、新たに証券口座を開設していただく必要があります。
お手続きは直接証券会社へお問い合わせください。

Q 特別口座が開設されたかどうかわかりません。

A 三井住友信託銀行までお問い合わせください。特別口座の開設状況や必要なお手続きを
通話無料でご案内します。

三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 0120-782-031(フリーダイヤル)

※電話照会先受付時間：土・日・祝祭日を除く9:00～17:00



株式会社 東京ドーム

〒112-8575 東京都文京区後楽1丁目3番61号

TEL 03(3811)2111(代表)

東京ドーム 企業情報サイト <http://www.tokyo-dome.jp>